

MBスクリーンバケット 簡易マニュアル

MBスクリーンバケットの作業効率を低下させないよう以下の事に留意してください。

【取付時】

1. ベースマシーン 適正なバックホウの油圧・油量の設定必要油圧・油量に達していないと作業能力が低下します。



※合流配管での過度な流量を流した場合は制御できずにモーターの破損等につながるため、注意が必要です。



2. ドレイン配管の適正な接続

接続箇所を誤り、内圧がかかり破損させるケースがありますので注意が必要です。

油圧 流量 25MPa / 120 ~ 285 L/min



【使用時】

1. 旋回しながらの作業は、圧力がバックホウ側に取られるため、十分な能力が発揮されない場合がありますので、ふるい作業は極力バックホウ本体の操作は控えてください。

2. 一度にふるい材をバケット内に投入するとふるい効率が低下します。また、バケット内の回転部の速度を上げすぎると遠心力によりふるい材が落ちにくくなり作業効率が下がります。標準的な目安として積み込み量は回転部の約1/3、回転速度はふるい材が登頂部前に落下するくらいが最も作業効率のよい速度となります。

積み込み量の目安



積み込み目安

ふるい材の動き

回転方向

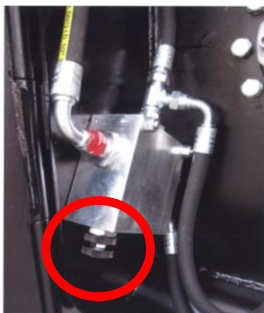


ふるい材の動き



3. 回転部の速度についてはベースマシン流量にも比例し早くなりますが、アタッチメント後方のボックス内のハンドホイールでスピード調整をすることができます。ふるい材、網目大きさを考慮して設定してください。

調整用ハンドホイール



ホイールを時計回り → 回転が遅くなる

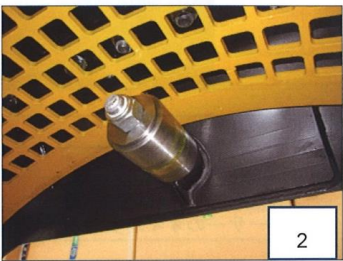
ホイールを反時計回り → 回転が速くなる

日常メンテナンス

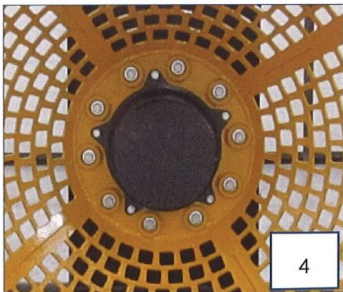
- ・ 回転部のボルト関連の緩みを確認してください。始業前点検
- ・ グリスアップ箇所 30時間が目安



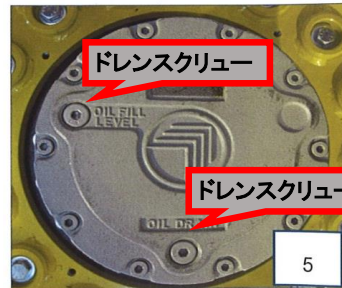
- ・ ブッシュ部の外観チェック グリスアップに合わせ30時間が目安



- ・ リデュサーのオイル交換 1000時間が目安 ※初回のみ100時間を目安としてください。



保護ケースを外す



リデュサーの保護ケースを外し、オイルドレンスクリューが下になるように配置します。六角で留まっているスクリューを両方外し、使用済みオイルを廃棄します。ドレンスクリューを戻し穴の高さまでオイルを補充する事で完了です。必要な油量は下記の通りです。

MB-S14	1.4L
MB-S18	1.4L
MB-S23	2.3L